

Complete Guide For PPF

HYPERPRO®

KKVINYL-USA.COM

PPF Finish Type

Clear PPF

Gloss	高光沢透明フィルム。元の塗装の色と輝きを完璧に再現します。
Matte/Satin	マット透明フィルム。元の塗装にマットな質感を与えつつ保護します。

Color PPF

Gloss	鮮やかな発色と鏡面仕上げを実現する高光沢カラーフィルム。
Matte/Satin	人気のマットカラーと質感を実現するマットカラーフィルム。

Matte Finish

施工方法

ウェット施工

滑り剤を使用して施工する標準的な方法。

ドライ施工

滑り剤をほとんど使用せず、エアリリース用接着剤チャネルとプロによる圧着で接着させる方法。

*経験豊富な施工者のみ対象。

施工前の準備

車両表面

施工は専門的な空調管理されたクリーンルームで行ってください。周囲温度は18°C〜25°C（65°F〜77°F）が適切です。理想的な湿度は40%〜60%です。

環境条件

施工は専門的な空調管理されたクリーンルームで行ってください。周囲温度は18°C〜25°C（65°F〜77°F）が適切です。理想的な湿度は40%〜60%です。

施工プロセス注意事項

PPF仕上げタイプ

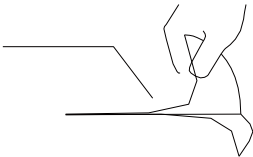
ストレッチ加工	単一領域の過度な延伸を避けてください。過度な延伸は素材の光沢化や変色を永久的に引き起こす可能性があります。
溶液の使用 方法	中性でPPF専用のスリップ溶液のみを使用してください。アンモニアやアルコールを含むウィンドウティント溶液は絶対に使用しないでください。PPFの接着剤やトップコートを損傷する恐れがあります。



保管条件

ロールは直射日光を避け、涼しく乾燥した場所で直立保管してください。理想的な保管温度は15°C〜30°C（59°F〜86°F）です。熱源、オゾン発生装置、化学溶剤から遠ざけてください。

最初のフィルム層を剥がす



取り扱い

ロールから材料を切断後、直ちに保護ライナーを取り外してください。これを怠ると、剥離ライナーの張力により「トンネル」が発生し、材料を損傷する恐れがあります。

ロール未使用時は、巻き戻し防止とトンネル発生回避のためテープで固定してください。マット仕上げ製品には表面保護フィルムは付属しません。

取り扱い・施工時は傷や擦れ防止に細心の注意を払ってください。

施工後のお手入れ

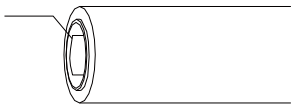
硬化時間	水分蒸発と接着剤の完全硬化には48〜72時間必要です。この間は高速走行、高圧洗浄機、長時間の日光曝露を避けてください。
洗浄	週1回の洗浄を推奨します。pH中性のカーシャンプーのみ使用してください。虫の死骸、鳥の糞、樹液は直ちに除去してください。食器用洗剤、洗濯洗剤、強力な溶剤や研磨剤を含むクリーナーは絶対に使用しないでください。
メンテナンス	撥水性と耐汚染性を維持するため、2〜3ヶ月ごとにPPF専用ディテラー（SiO2ベースが一般的）を塗布してください。カラーPPFにはカーナバワックス、ペーストワックス、シーラントを絶対に使用しないでください。仕上げが変化する恐れがあります（例：マット仕上げが光沢化する）。



加熱後の取り扱いガイドライン

カラーPPFはヘッドライトやテールライトには設計されていません。接着剤と厚みが過熱を引き起こし、安全上の危険を生じさせる可能性があります。マット/サテン仕上げにはワックスをかけないでください。不可逆的な「光沢斑点」が生じ、美観を損ないます。カラーPPFは傷に強いですが、傷がつかないわけではありません。鋭利な物体や硬い物体による摩耗を避けてください。

チューブ内
側のラベル



バッチコード記録

将来の修理や部分的な再ラッピング時に正確な色合わせを行うため、材料のバッチコードを記録することが不可欠です。バッチコードは各マスターロールの内側に記載されています。

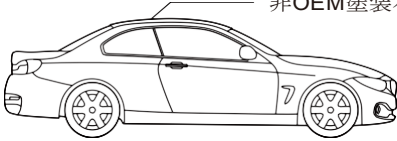
ご注意：特定のバッチの入手可能性は在庫状況に依存し、保証されるものではありません。

車両表面の要件

当社の保証は、純正OEM塗装面に施工した場合にのみ適用されます。非OEM塗装パネル、未塗装プラスチック、下地処理面への施工は、接着不良や化学反応を引き起こす可能性があります。



非OEM塗装パネル



詳細については、営業担当者にお問い合わせいただくか、KKvinylウェブサイトをご覧ください：:

KKVINYL- USA.COM

KKvinyl

